

空き家事業を展開するジェクトワン、 地域の持続的成長支援と社会的課題の解決に取り組む北洋銀行と 「ポジティブインパクトファイナンス」を締結

不動産の開発事業・リノベーション事業および空き家事業「アキサポ」を展開する株式会社ジェクトワン（本社：東京都渋谷区、代表取締役：大河 幹男 以下、ジェクトワン）は、株式会社北洋銀行（本店：北海道札幌市、取締役頭取：津山 博恒 以下、北洋銀行）と「ポジティブインパクトファイナンス」の契約（以下、本ファイナンス）を締結し、本日実行されましたので、下記のとおりお知らせいたします。



■本ファイナンスについて

本ファイナンスは、企業活動が環境・社会・経済にもたらすインパクトを包括的に分析・評価し、ネガティブインパクトの緩和とポジティブインパクトの拡大について目標を設定し、その実現に向けた継続的な対話や支援を重視することでSDGs達成に貢献していく金融手法です。北洋銀行は、国連環境計画金融イニシアチブが提唱するポジティブインパクト金融原則に基づき、「ポジティブインパクトファイナンス評価書」を発行し、株式会社格付投資情報センターから第三者評価として「セカンドオペニオン」を取得しています。

■締結の背景

北洋銀行は、本ファイナンスにおけるコア・インパクトを「不動産開発を通じた地域の魅力向上」と特定し、当社の取り組みを評価していただき、本ファイナンスの締結に至りました。具体的には、不動産開発を通じた空き家問題の解決などにより、地域の魅力を最大化、地域経済の活性化等に取り組み、環境・社会・経済へ好影響を与えている点などを評価いただいています。

本ファイナンスの締結を通してより一層、ジェクトワンは今後も空き家事業を中心に、環境・社会・経済にポジティブな影響を与える企業活動を展開してまいります。

■ジェクトワンのポジティブインパクト

- ①不動産開発を通じた地域の魅力向上
空き家事業「アキサポ」を通じ、個人や中小事業者が保有する空き家の有効活用を推進し、住宅の長寿命化、地域の活性化に貢献する。
- ②環境負荷を低減した住みよい住宅の提供
省エネ性能の高い住宅の普及による気候変動への対応および住宅の長寿命化による廃棄物の削減。
- ③社員のワークライフバランス向上
多様性のある職場づくりおよび働き方改革の推進によるワークライフバランスの向上。

■本ファイナンスの概要

契約日：2024年7月17日

実行日：2024年7月31日

金額：2億円

期間：6年

資金用途：運転資金

■株式会社ジェクトワン

所在地： 東京都渋谷区渋谷二丁目12番19号 東建インターナショナルビル本館1F

設立： 2009年1月28日

代表取締役： 大河 幹男

資本金： 1億円

事業内容： 総合不動産開発事業（住宅、ビル、商業、ホテル）、リノベーション事業、賃貸管理事業、空き家事業

URL： <https://jectone.jp/>

■株式会社北洋銀行

社名： 株式会社北洋銀行

所在地： 北海道札幌市中央区大通西三丁目7番地

設立： 1917年8月20日

取締役頭取： 津山 博恒

資本金： 1,211億円

事業内容： 金融事業

URL： <https://www.hokuyobank.co.jp/>